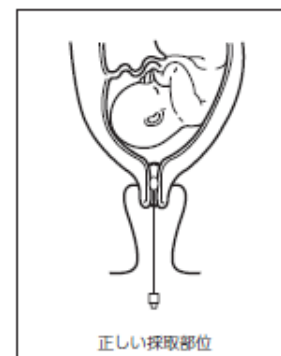
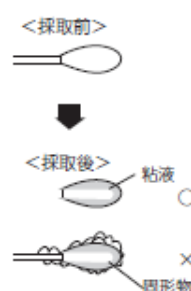


子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ (Q17)

採取方法

- ①検体採取は膈部洗浄前に行い、子宮頸管部より採取します。
- ②検体採取前に子宮膈部の粘液を綿球で拭い取ります。
- ③綿棒を頸管内（外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないよう）に挿入し、ゆっくりと2回転程させます。
（1回転あたり約5秒をかけ粘液が綿棒全体に浸み込むように採取します。また、綿棒に少量の固形物が付着した場合は接子等で取り除いてください。）
- ④ゆっくりと綿棒を抜いてください。
- ⑤採取した検体は15分以内に抽出操作を行ってください。



提出方法（抽出方法）

- ①抽出液の液面が、抽出容器の液量確認線の間にあることを確認します。なお、抽出液がキャップ中栓に付着している場合があるので、振り落とした後に液面の確認を行ってください。
- ②頸管粘液（滲出液）を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。
- ③綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。
- ④検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。
- ⑤フィルターをセットします。
- ⑥検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴（約300μL）を分取します。必要量を得られない場合は検体採取からやり直してください。
- ⑦検体保存容器にキャップをし、容器ラベルを貼って保存します。凍結にてご提出ください。